

キーワード：自動車、機構、機械設計

研究・地域連携活動の背景・目的

自動車は移動手段としてなくてはならない道具でもあり、コミュニケーションの場、憧れの存在であったりもする。多種多様な使われ方に対し、安全かつ快適な移動空間を提供し続けている。そんな付加価値の高い機構を考え、社会への展開を通して貢献していきます。

期待される効果などアピールポイント

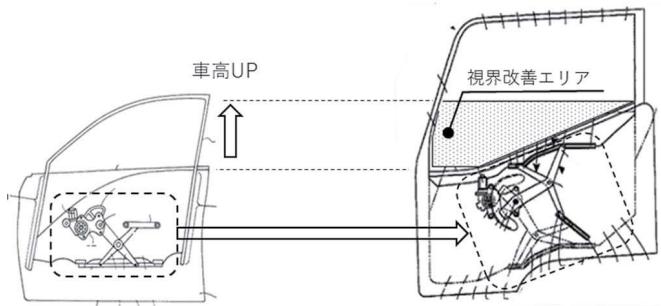
若者の自動車離れが指摘されるが、大人になつたら買いたい物は男女とも「車」が首位だった。『大人の象徴』としての憧れである。

- ・カッコよく付加価値の高いクルマができるまでの開発プロセスや製造工程改善の事例紹介。
- ・クルマに興味を持ち、自動車業界で活躍できる人材の育成。
- ・社会の困り事の機械設計工学的アプローチでの提案・解決。

研究・地域連携活動の概要紹介

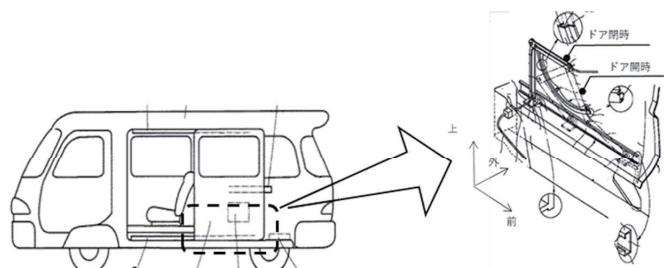
【車高の高いクルマへのより良い側方視界確保のためのガラス昇降構造】

RV車やトラックなど車高の高いクルマは側方視界が悪くなってしまうのが必至である。それを解決する手段としてのレギュレータの構造機構。リフトアームとイコライザーアーム+イコライザーアームブラケットからなる機構をX型→ブーメラン型として最適配置を算出する。



【スライドドアへの常時給電するための装置の構造機構】

スライドドアは、開時は電源が供給できず、電装部品が使用できず使い勝手が良くなかった。開閉動作に関係なく常時スライドドア側に給電を行なうべく例えば一対のリンクアームを用いてワイヤハーネスの弛みを吸収させる自動車用スライドドアへの常時給電構造に関するもの。



【機構を用いた各種産業機器に関する研究】

有機農業向け除草デバイスや車いすの付加価値向上等の研究に取り組んでいる。